

次期一般廃棄物最終処分場建設候補地にかかる評価結果の報告会を開催

令和5年9月

1 報告会の内容について

長野広域連合（長野市など9市町村で構成）が、令和18年度から稼働予定の次期一般廃棄物最終処分場施設について、6箇所の候補地から長野市中条日高（入日）と、飯綱町地蔵久保の2箇所が選定されたことから、8月27日（日）午後2時から4時までの間、中条総合市民センターで、評価結果について報告会を開催したものです。

当日は、会場に40名の方が集まりました。最終候補地の決定は、令和7年度までに長野広域連合で行う予定です。

2 主な質疑と回答について

○災害廃棄物の持ち込みについて

- ① 太陽光パネルや畳等の災害廃棄物が持ち込まれることはあるのか。
⇒ 最終処分場に埋め立てるものは、焼却後の残渣のみで、廃棄物そのものが持ち込まれることはない。
- ② 他県等から持ち込まれることもあるのか。
⇒ 受け入れる場合は、地区の皆様はその都度協議させていただき、了解を得た上で受け入れをする。

○評価結果等について

- ① 専門委員会の評価結果の中で、重要視された項目の理由は何か。
⇒ 今回の評価は、今後調査や検討を進めても、評価があまり変わらないと判断する地形や地質の状況等を重視した。
- ② 最終候補地の決定はどのように選定するのか。
⇒ 今後は地元地区の皆様からのご意見ご要望等を取りまとめ、その内容等を踏まえて令和7年度までに長野広域連合の理事会で決定する。
- ③ 選定された場合は、地域的なメリットはあるのか。
⇒ 地元活性化の事業、公民館、公園等の公共施設や道路の改良等が考えられる。
- ④ 建設候補地の意見や要望等を言える地元地区とはどの範囲になるのか。
⇒ 今後の話し合いの中で進めていくが、要望等については、優先順位をつけて対応していきたい。
- ⑤ 規模は、現在の最終処分場（エコパーク須坂）と比較してどうか。
⇒ 現段階では最大規模を想定し、エコパーク須坂の約2倍の大きさで計画をしているが、今後基本計画の中で検討し、小さくなる可能性はある。
- ⑥ 運搬トラックの台数は1日何台くらいなのか。
⇒ エコパーク須坂の場合は、覆土等の搬入も含めて1日に10台以内となっており、焼却施設からの搬入台数は1日に1から3台程度である。
- ⑦ 空気や風向き等の調査はいつ行うのか。
⇒ 最終決定した候補地について、令和8年度以降に環境影響調査で実施する。
- ⑧ 候補地に通じる入日線について、1年近く通行止めとなっているが、災害が起きている場所がなぜ建設適地なのか。
⇒ 昨年8月の災害により通行止めとなっており、県に依頼はしているが、未だに対応できていない状況となっている。（※）評価結果の中でも防災上の考慮をしなければならない場所との認識を持っている。
（※）土尻川の土砂撤去は県にお願いしています。入日線の復旧は、施設建設の際に整備方針を決めます。
- ⑨ 候補地2箇所とも適さなくなった場合は白紙に戻るのか。
⇒ これまで時間をかけて選定してきたため、解決できる課題であればクリアし、現在の候補地から決定したい。

3 主なご意見・ご要望等について

- ・若い人たちの意見も吸い上げて欲しい。
- ・少子高齢化が進み荒廃農地が増えているため、中条地区の発展のためにも、ぜひ中条地区に招致したい。
- ・建設候補地となっている場所の東側は地下水の豊富な場所のため考慮して欲しい。
- ・令和7年度まででは期間が短いため、もう少し時間をかけて選定して欲しい。
- ・入日線については周辺整備事業でぜひ整備して欲しい。
- ・意見や要望等の対象とするエリアは、中条地区全体にして欲しい。
- ・報告会での意見等について、来られなかった方にも全戸配布等により報告して欲しい。

今後、長野市では施設整備に対するご意見やご要望等を取りまとめていく予定ですので、ご協力をお願いします。

なお、報告会に出席できなかった方で、当日の資料が必要な方は、お手数ですが中条支所までお申し出ください。

「ながの環境エネルギーセンター」及び「エコパーク須坂」の視察研修について

市では、住民の皆さんに実際に最終処分場等を視察していただき、ごみ焼却施設及び最終処分場に対する安全性について理解を深めてもらうため、下記のとおり最終処分場等の視察研修を計画しております。

- ・研修日 令和5年11月28日（火）予定
- ・視察先 長野市松岡「ながの環境エネルギーセンター」、須坂市「エコパーク須坂」

日程の詳細や、お申込み方法等については、後日改めてご案内いたします。

【お問い合わせ先】 長野市生活環境課 電話 224-6475 / 長野市中条支所 電話 268-3001